

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	▼	▼	電話	042(778)2277
担当部課名	生涯学習部	▼	麻溝公民館	▼	▼
事務事業名	公民館活動費麻溝公民館			事業コード	15110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習活動の推進	~63 ▼ 年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

社会教育法、相模原市公民館条例

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市民のライフステージに対応した多様な学習機会を提供し、文化・体育活動などを通して人々の生きがいづくりや健康の保持・増進を図るとともに、人々の交流や連帯感を生み出し、活力あるまちづくりに資する。		麻溝公民館区内住民	
		対象数	5537世帯、15,227人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
1 事業の実施(事業数、延参加者数) 学級・講座 15事業、1,162人 講習会 9事業、276人 発表・展示会 2事業、1,197人 大会 4事業、2,450人 つどい 6事業、968人 計 36事業、6,053人 2 公民館報の発行 年6回、各4,500部発行 3 貸館業務 2,381団体、37,148人利用 4 図書室の開室 貸出者数 6,262人 貸出冊数 19,982冊		各種学級・講座の充実を図る。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	公民館利用率	公民館利用率
指標式	年間利用者数 / 開館日数	年間利用者数(図書貸出者を含む) / 館区内人口
指標設定の意図	公民館の施設が有効利用されているか。なお、14年度の目標値が低いのは、14年度から試行による開館日が増えることによる。	公民館が身近な施設として地域住民にどの位有効利用されているか。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	130.2	131.3	a 124.7	b 135.0	125.0	
指標	2.9	3.2	c 3.0	d 3.3	3.5	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	2,316	2,628	2,151	2,262	2,192
	人員・時間数	3人・3,600h	3人・3,600h	3人・3,600h	3人・3,600h	2人・2人・4,300h
	人件費	28,600	28,600	28,600	28,600	26,600
	その他経費					
	合計	30,916	31,228	30,751	30,862	28,792
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 91.2%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	124.7	c	3.0
b	135.0	d	3.3
$\frac{a}{b} \times 100 = 92.4\%$		$\frac{c}{d} \times 100 = 90.0\%$	
		$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	近年、麻溝公民館利用者は1日平均100名を超え空き部屋も少なく施設の有効利用が図られているが、14年度から試行により開館日としている月曜及び祝祭日の翌日の利用がまだ少ない状況である。また、参加者が少ない事業もあり、事業の内容・実施時期・PR方法・住民ニーズの把握などに改善の余地がある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由 :	住民のニーズの把握及び新しい生活課題への取り組みや情報化に対応したシステムの構築などが今後の課題である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	最小限の人員と少ない予算の中で、地域住民の参画・協力により多様な事業を実施しており、経済性・効率性は高いといえる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	民間における有料の教養講座やスポーツ教室などと部分的には競合するところもあるが、広く地域住民の教育・福祉の向上のためには市が引き続き実施していくことが必要である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	参加者からのアンケートによると公民館事業に対する満足度は高いものがあるが、市政に関する世論調査にもあるように、20歳代・30歳代の若年層(特に男性)の公民館利用が少なく、必ずしも全ての人の満足が得られているとはいえない。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	インターネットなどが普及する高度情報社会にあっても、人と人とのふれあい、学びあい、高めあいの場として公民館の果たす役割は大きく、今後も公民館を中心とした生涯学習社会の構築が有効かつ不可欠である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 勤労者や若年層を意識した事業展開やホームページの作成など情報化に対応したシステムの構築などにより、地域住民に公民館をより身近な施設として利用してもらう工夫が必要である。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 毎年恒例に実施していて参加者の少なくなってきた事業の見直しを図ったり、利用状況に応じた開館時間の設定などが必要である。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	横須賀市 地域公民館9館、分館2館 各館正規職員1名、嘱託2名、非常勤職員1名
		藤沢市 地域公民館13館、分館2館 各館正規職員5～6名
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明 情報化・国際化への対応、民間教育事業との調和、国・県・近隣市町村との連携のあり方など多くの課題はあるが、家庭・学校・社会を有機的に結ぶ地域の生涯学習の拠点として公民館の果たす役割は大きく、人々が心の豊かさや生きがいを実感して自己実現を目指す生涯学習社会の構築に向けて、市が引き続き支援していく必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--